

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

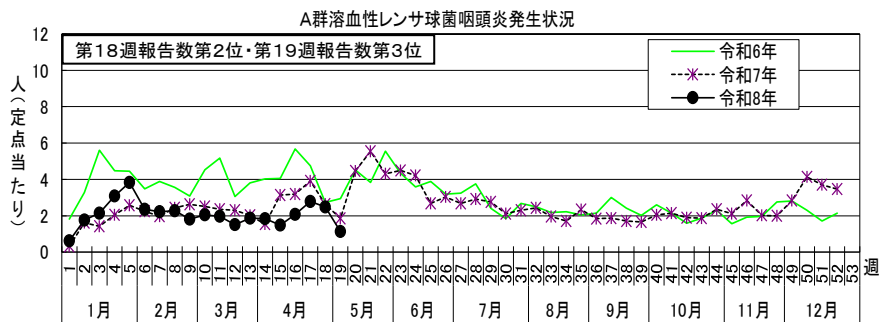
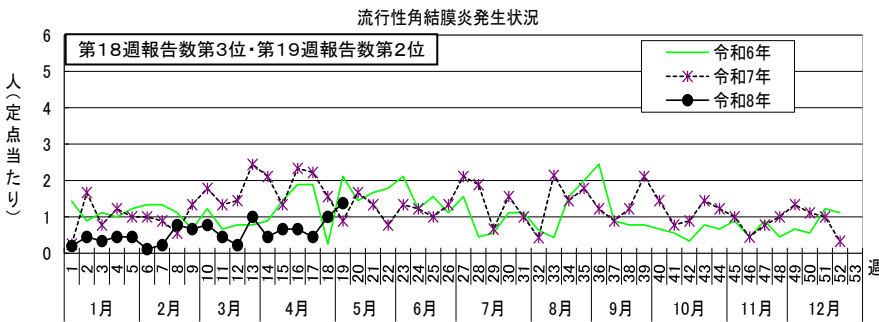
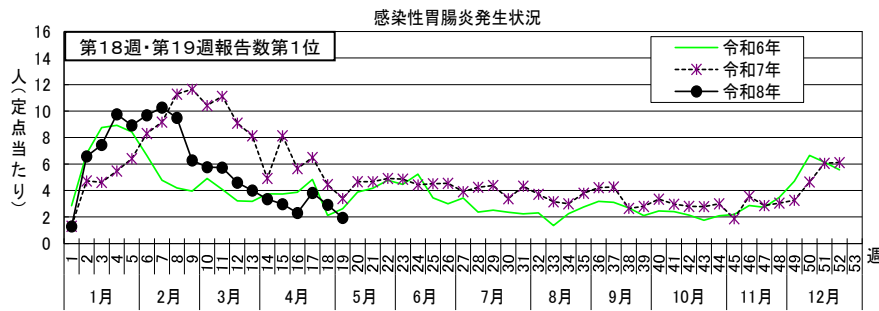
令和8年4月27日（月）～5月3日（日）〔第18週〕及び5月4日（月）～5月10日（日）〔第19週〕の感染症発生状況

第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）流行性角結膜炎でした。

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）流行性角結膜炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第19週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.95人と前週（2.92人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

第19週の流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.38人と前週（1.00人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



知っていますか？～ヒトメタニューモウイルス感染症～

ヒトメタニューモウイルス（hMPV）は風邪の原因となるウイルスの一種で、冬から春にかけて流行するとされています。川崎市内における急性呼吸器感染症サーベイランスにおいても、2月中旬以降、hMPVの検出数が増加しています。hMPVは、5歳未満の小児の検体からの検出が約半数を占めますが、高齢者を含め幅広い年齢層の方から検出されています。

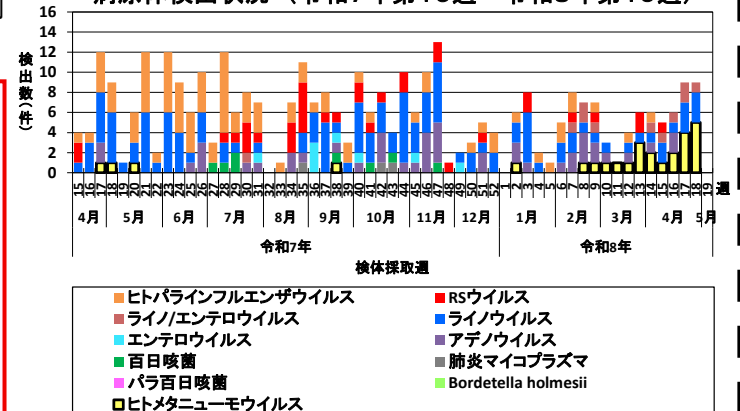
感染すると3～5日の潜伏期間の後、咳や鼻汁等の症状がみられ、小児の場合は高熱が5日間程度続くこともあります。多くの場合、症状は1週間前後で改善しますが、まれに重症化し、喘息発作の悪化や乳児の肺炎の原因となることもあるため、お子さんの咳や高熱が続く場合は医療機関に御相談ください。

ヒトメタニューモウイルス感染症とは？

- 【病原体】ヒトメタニューモウイルス
- 【感染経路】飛沫感染、接触感染
- 【潜伏期間】3日～5日
- 【主な症状】咳、鼻汁、高熱等
- 【感染拡大防止策】手洗い、マスクの着用等



川崎市における急性呼吸器感染症の病原体検出状況*（令和7年第15週～令和8年第19週）



*インフルエンザウイルス及びSARS-CoV-2を除く。